

2 結果の概要

ペーパーテスト

- ・全体として、基礎的・基本的な内容は十分身に付いている。

<教科別具体事例> (○：十分身に付いている力)

- 国語……○話の内容を正しく聞く力、文章の内容を正しく読む力、漢字を正しく読む力など
- 社会……○基本的な事項、用語等の理解、基本的な資料を読み取る力など
- 算数、数学○簡単な四則計算の技能、方程式を立式したり、解いたりする力、図形の性質の理解など
- 理科……○自然事象についての基本的な知識・理解や観察、実験の基本的な技能、観察、実験の結果から論理的に思考し自分の考えを表現する力など
- 英語……○具体的な内容を正しく聞き取ったり、大まかな内容を読み取ったりする力など

- ・課題となっていた「文章、資料、図表等を深く読み取る力」や「学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、自分の考えを適切に表現する力」等は、各教科とも改善の成果がみられるが、今後とも、一層充実させていく必要がある。

<教科別具体事例> (△：一層高めていく必要がある力)

- 国語……△資料を読んで考えたことを根拠や理由を明らかにして、決められた字数で書く力、漢字を正しく書く力など
- 社会……△地図や年表を活用する力、複数の資料を関連付けたり、資料の内容を深く読み取ったりして課題を追究する力、自分の考えを適切に表現する力など
- 算数、数学△面積の求め方を考える力、文字式の意味をよむ力、数量の関係を式で表現する力など
- 理科……△学習で身に付けた科学的な見方や考え方をを用いて、実社会や実生活の中の事象を説明する力など
- 英語……△伝えたい内容を適切な表現を用いて書いたり、書く内容を考え、まとまりのある英文を書いたりする力など

【教科別改善の方向】

- 国語……◇文章や資料、グラフや図表等を読んで考えたことを、根拠や理由を明らかにして決められた字数で書いたり、それをもとにして交流したりする機会の充実、学習した漢字を繰り返し書いたり、使用したりする機会の充実
- 社会……◇問題解決的な学習の充実を図り、課題に対して様々な資料等を活用し、調べ考え、自らの考えを適切に表現する機会の充実、学習したことを活用する機会の充実
- 算数、数学◇算数的活動や数学的活動を通して学習内容を理解する機会の充実、数学的に表現するとともに、算数、数学の有用性を実感する機会の充実
- 理科……◇観察・実験の事実に基づき、結果を表やグラフなどに表現する過程を通して考察を深める機会、実社会や実生活との関連を重視し、学びの実感を味わう機会の充実
- 英語……◇具体的な活動場面を設定し、コミュニケーションを図る目的を明確にした言語活動の機会の充実、多様なトピックについて自分の考えを表現する機会の充実

質問紙調査

- ・「勉強が好き」「勉強は大切」「努力して勉強しなければならない」については、「そう思う」の割合が増加している。
- ・90%以上の児童生徒が「勉強は大切である」を選択し、80%以上の児童、70%の生徒が、「勉強する意欲がある」を選択している。
- ・70%以上の児童、60%程度の生徒が「学校の授業が分かる」を選択しており、昨年度に比べて約3～6%増加、一昨年度に比べて約10%増加している。
- ・60%以上の児童生徒が、授業の中で分からなかった時、「友だちにたずねる」を選択している。
- ・家庭で、計画を立てて学習をする児童生徒は、学年が進むにつれて減少する傾向にある。
- ・80%以上の児童生徒が午前7時前に起床している。午前8時以降に起床する児童生徒は、全体の1%程度である。また、90%程度の児童生徒が、毎日朝ごはんをきちんと食べている。
- ・「家の人とよく話をする」のは、児童では40%程度、生徒では30%程度である。「ほとんど話をしない」児童生徒は10%未満であるが、学年が進むにつれて家族との会話は減る傾向にある。

【今後の指導の方向】

- ・一人一人が問題解決的な学び方を身に付け、学ぶ喜びを味わうことができるよう、教材の工夫、展開の工夫、評価の充実などを図り、学習意欲の喚起を一層促す必要がある。
- ・家庭においても、規律ある生活を送り、計画を立てて主体的に学習する習慣を身に付けさせるなど、家庭学習が充実するよう指導する必要がある。